脱炭素成長型経済構造への円滑な移行の推進に関する法律施行令案要綱

第一 法第五十八条第二項ただし書の政令で定める場合

脱 炭 素 成長型経 済 構 造 \mathcal{O} 円 滑 な 移行 \mathcal{O} 推 進 に 関 す うる法律 (以下 法」 という。 第五· 十八条第二 一項た

だし 書 \mathcal{O} 政 令で定め る場 合 は、 法 第 五. + 七 条 第 項 に 規定する 対 象 事 業 活 動 支援に係 る 債 務 \mathcal{O} 保 証 をする

額 出 資 0 額又は引き受ける社債 0 額が、 それぞれ二百億円以下 である場合とすること。 (第 条関 (係)

第二 法第六十四条第四項の政令で定める事業年度等

法 公第六十 匹 条第四 項 $\widehat{\mathcal{O}}$ 政 令で定め る事 ,業年度は、 令和二十二年度とし、 積 立 金等の処分に係る承認 の手

続等の所要の規定を設けること。

、第二条から第六条まで関係

第三 借入金 及び)脱炭 素成長型経 済 構造移行推 進 機構債 \mathcal{O} 発 行 \mathcal{O} 限度額 等

脱 炭 素成長型経済構造 2移行推; 進 機 構 0 金 融 機関等 か 5 0 借 . 入金. 及び脱炭素成長型経済構造移行推 進機構

債 (以 下 機 構 債」 という。 \mathcal{O} 発行の限度額は、 兆八千億円とし、 機構債 \mathcal{O} 発行 \mathcal{O} 方法 を定り \emptyset る等の

所要の規定を設けること。

(第七条から第二十五条まで関係)

第四 附則

この政令は、法附則第一条第二号に掲げる規定の施行の日(令和六年二月十六日)から施行するこ

と。

二 その他関係政令について所要の改正を行うこと。

(附則第二条から第十二条まで関係)

(附則第一条関係)